

GIFCOM ギフトマーケットレポート Vol.6

報道関係者各位

2008年11月4日

～2008年 ギフトパッケージに関する調査～

贈り物の過剰包装に困った人は7割以上
お歳暮は簡易包装で贈る人が多数

過剰包装だと感じたことがある：71.5%。
箱やダンボールを捨てるのに困った：77.9%。
お歳暮・お中元は簡易包装でよい：44.7%
きれいに包装したい贈り物
1位：クリスマスプレゼント（32.9%）
2位：誕生日プレゼント（32.0%）

「体験型ギフトカタログ」の先駆者として、「GIFT+ing^{ギフトイニング}」を提唱している株式会社 GIFCOM(本社：東京都港区、代表取締役社長：南川一郎、以下 GIFCOM)は、20～69歳の男女1030名(調査期間：9月24日～9月26日)に対して「2008年 ギフトパッケージに関する調査」を行いました。

= 調査結果の概要 =

これまで、「贈り物をもって困ったこと」について聞いたところ、「過剰包装だと感じたことがある」「箱やダンボールを捨てるのに困ったことがある」人は、それぞれ7割以上と多くなっています。「簡易包装でもよいと思う贈り物」を聞いたところ、「歳暮・中元」が44.7%と圧倒的に多く、「歳暮・中元」については、「簡易包装でよい」という意識が生活者の間に浸透してきているようです。

一方、「クリスマスプレゼント」「誕生日プレゼント」「結婚祝」など“ハレの日”や“パーソナル”な贈り物は、「きれいに包装したい」人が依然多く、簡易包装の選択は、ギフトシーンによって異なるようです。

年齢別に分析したところ、60代で簡易包装派が多く、「贈り物でも環境にやさしいものを選ぶ」という意見も60代に多いなど、エコロジーへの関心の高さがうかがえます。20代においては、「贈り物ぐらいはきれいに包装したい」という意見が半数以上を占め、簡易包装派は1割に満たない水準にとどまっています。

【本件に関するお問い合わせ先】

GIFCOM 広報担当

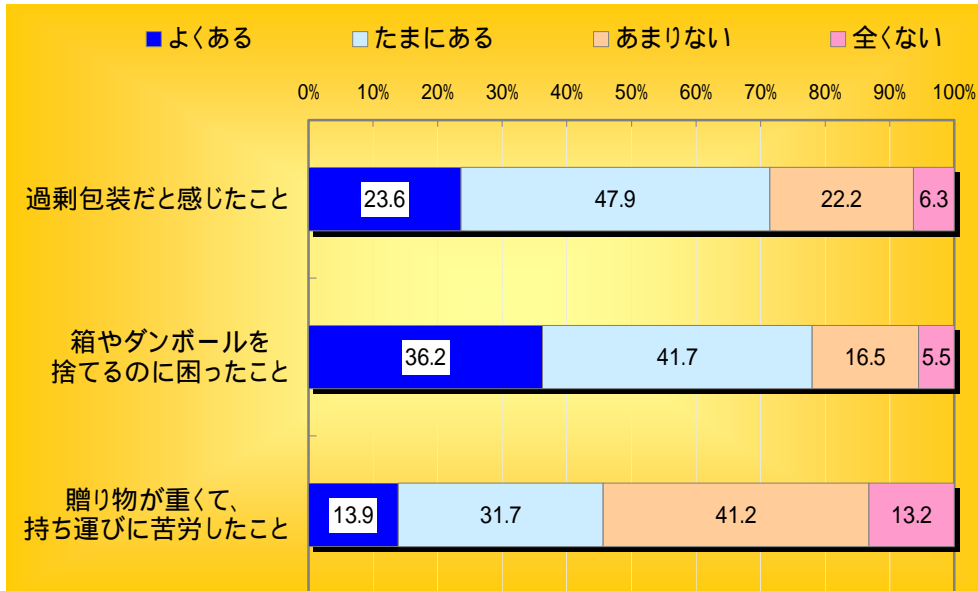
三浦映月・園部和男

TEL:03-3586-0261 FAX:03-5575-7691

アンケート詳細

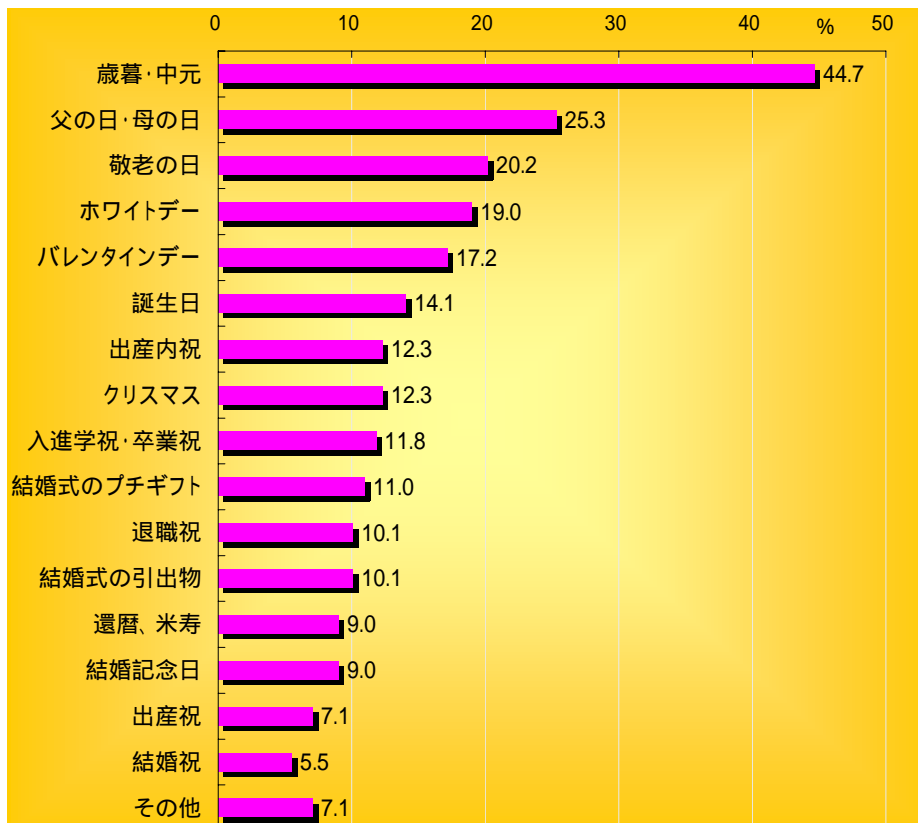
贈り物をもって困ったこと

贈り物をもって、「過剰包装だと感じたこと」や「箱やダンボールを捨てるのに困ったこと」のある人は、7割以上になっています。



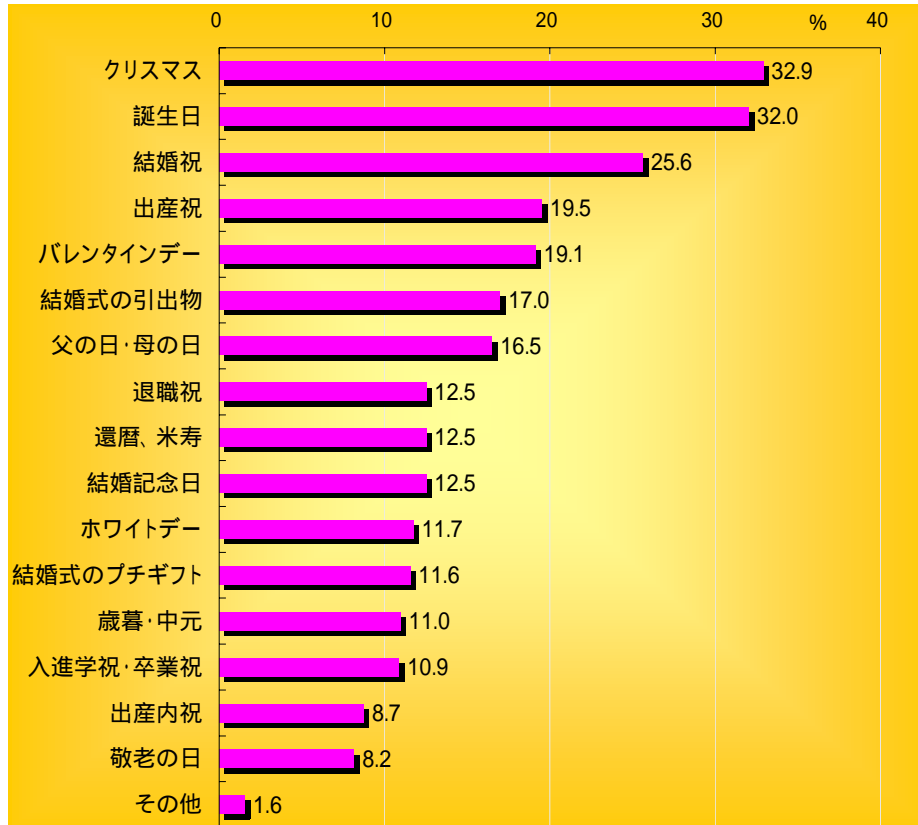
簡易包装でもよいと思う贈り物

簡易包装でもよいと思う贈り物について聞いたところ、「歳暮・中元」が最も多くなっています。



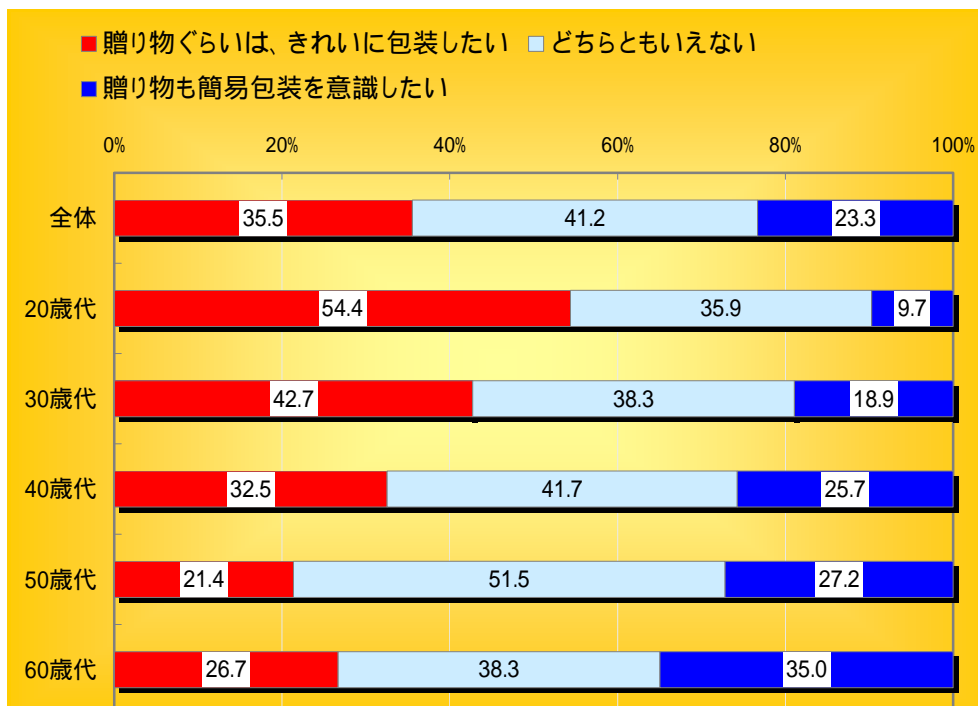
きれいに包装したいと思う贈り物

きれいに包装したい贈り物は「クリスマス」「誕生日」「結婚祝」が多くなっています。



贈り物の包装についての意識 <年代別>

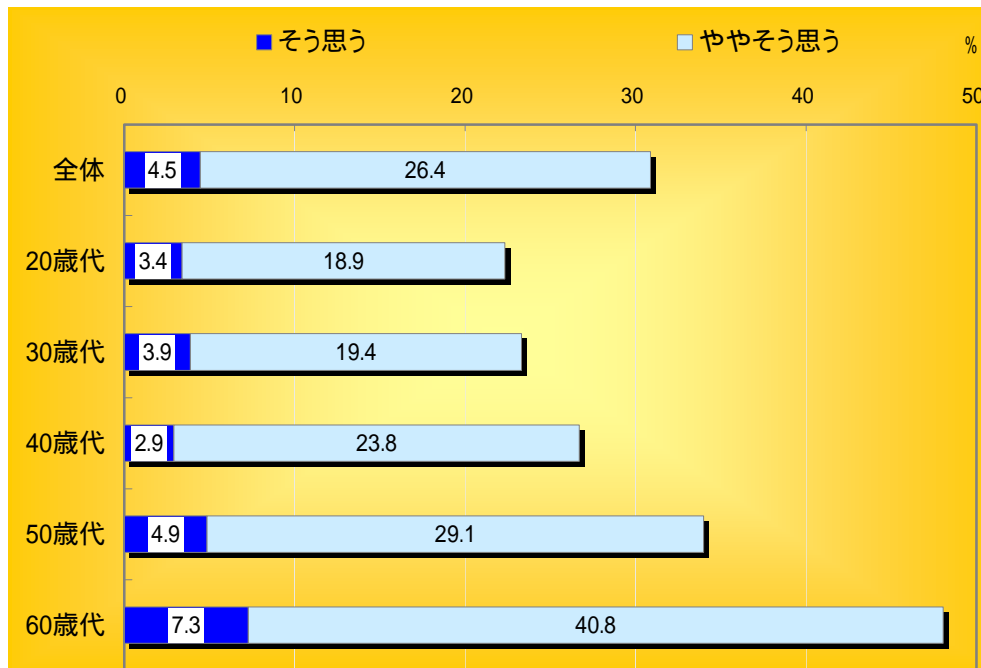
年代別に見ると、若い人ほど、「きれいに包装したい」という人が多く、年齢の高い人ほど、簡易包装派が多くなっています。



贈り物選びでの環境への配慮 <年代別>

贈り物でも環境にやさしいものを選ぶという回答についても、60代が多くなっています。

【贈り物でも環境にやさしいものを選ぶ】



その他の調査結果詳細に関しては、下記連絡先までお問い合わせ下さい。

報道関係者様へのお願い

本リリース内容の転載にあたりましては、「GIFCOM調べ」という表記をお使い頂けますよう、お願い申し上げます。

調査自体はインターネット調査会社を利用して行っております。

2008年 ギフトパッケージに関する調査

調査方法 : インターネットアンケート
実施期間 : 2008年9月24日(水)～9月26日(金)
対象地域 : 全国
対象者 : 20～69歳の男女
回答者数 : 1030名

GIFCOM 会社概要

【社名】 : 株式会社 GIFCOM(ギフコム)
【代表取締役】 : 南川一郎、坂井伸一郎
【所在地】 : 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル 5F
【設立】 : 2001年1月
【資本金】 : 1億5500万円(2008年9月1日現在)
【事業内容】 : 前払式証券の発行・販売
セールスプロモーションの企画、製作
ギフト商品の製造・販売
【URL】 : <http://www.gifcom.jp/>

【お問い合わせ先】 : 株式会社 GIFCOM
広報担当 三浦映月・園部和男
TEL:03-3586-0261 FAX:03-5575-7691